

めぐみイエス・キリスト教会

2020年7月5日(日)第一主日礼拝
週報「通算第513号」



2020年標題聖句

第 I テサロニケ5章16節～18節

《いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべての事について、感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。》

第一礼拝(教会にて) 毎週日曜日 午前10時～11時

第二礼拝※中止

聖書の学びと祈り会 毎週水曜日 午後6時～(各家庭にて)

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◇◆◇2020年7月5日 第一主日礼拝 午前10時
司会 鈴木竜実牧師 奏楽 佐野みゆきさん

◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌248「人生の海の嵐に」 p. 382

【交読文】 No.57コリント人への手紙Ⅰ第13章 p. 925

【賛美Ⅱ】 新聖歌259「聖いふみは教える」 p. 404

【使徒信条】

【主の祈り】

【先週説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナル賛美No.6「イスラエルがエジプトから」

【聖書朗読】 使徒の働き2章41節～47節(2017新約p. 236下段)

【礼拝説教】 《教会の誕生》

【聖餐式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌162「ハレルヤ・ハレルヤ」 p. 232

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

※本日の聖書箇所「使徒の働き」2章41節～47節

2:41 彼の言葉を受け入れた人々はバプテスマを受けた。その日、三千人ほどが仲間に加えられた。

2:42 彼らはいつも、使徒たちの教えを守り、交わりを持ち、パンを裂き、祈りをしていた。

2:43 すべての人に恐れが生じ、使徒たちによって多くの不思議とするしが行なわれていた。

2:44 信者となった人々はみな一つになって、一切の物を共有し、

2:45 財産や所有物を売っては、それぞれの必要に応じて、皆に分配していた。

2:46 そして、毎日心を一つにして宮に集まり、家々でパンを裂き、喜

びと真心をもって食事を共にし、

2:47 神を賛美し、民全体から好意を持たれていた。主は毎日、救われる人々を加えて一つにして下さった。

●Point1.「教えを守り、交わりを持ち、パンを裂き、祈りをして」とは？

※詩篇133篇1節～3節「都上りの歌・ダビデによる」(旧約p.1076上段)

133:1 見よ。なんとという幸せなんとという楽しさだろう。兄弟たちが一つになって共に生きることは。

133:2 それは頭に注がれた貴い油のようだ。それはひげにアロンのひげに流れて衣の端にまで流れ滴る。

133:3 それはまたヘルモンからシオンの山々に降りる露のようだ。【主】がそこにとこしえのいのちの祝福を命じられたからである。

●Point2.「使徒たちによって多くの不思議としるしが行なわれた」とは？

※ヨハネの福音書14章12節～13節「主イエスの約束」(新約p.214上段)

14:12 「まことに、まことに、あなたがたに言います。私を信じる者は、私が行なうわざを行ない、さらに大きなわざを行ないます。私が父のもとに行くからです。

14:13 また私は、あなたがたが私の名によって求めることは、何でもそれをしてあげます。父が子によって栄光をお受けになる為です。

14:14 あなたがたが、私の名によって何かを私に求めるなら、私がそれをしてあげます。」

●Point3.「主は毎日救われる人々を加えて一つにして下さった」とは？

※ヨハネの福音書13章34節～35節「新しい戒めを」(新約p.213上段)

13:34「私はあなたがたに新しい戒めを与えます。互いに愛し合いなさい。私があなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。

13:35 互いの中に愛があるなら、それによって、あなたがたが私の弟子であることを、すべての人が認めるようになります。」

※エペソ人への手紙4章1節～5節「御霊による一致を」(新約p.399上段)

◎先週のメッセージの概要【ペテロの説教から(その三)】

《引き続き、集まったユダヤ人たちへ語ったペテロのメッセージからです。さて、「ダビデが天に上ったのではありません。」とペテロは言っていますが、彼は主イエスの昇天を目撃しています。この言葉はその真実に裏打ちされているのです。そして、次にダビデの詩篇から引用します。

『【主】は私の主に言われた。「あなたは私の右の座に着いていなさい。私があなたの敵をあなたの足台とするまで。」』と。

最初の【主】とは、「YHWH」、つまりヤーヴェ(父なる神)を指します。そして次の「主」は、主イエス・キリストの事です。ダビデは預言者です。この詩篇を詠んだ時のダビデは、まさしく天の幻を垣間見たのです。この預言は主イエス様が昇天された時に成就します。現在、主イエス様は父なる神の右の座に座しておられます。やがて立ち上がり、花嫁である教会を迎えに来るのです。次に成就する預言は携挙です。

「神が今や主ともキリストともされたこのイエスを、あなたがたは十字架につけたのです。罪を赦していただく為に、悔い改めて、イエス・キリストの名によってバプテスマを受けなさい。そうすれば、聖霊を受けます。」

聖霊を受けるには、まず主イエスを十字架につけた罪を認めなければなりません。次に悔い改める事です。悔い改めとは、人生を180度方向転換させることです。そしてイエス・キリストの名によってバプテスマを受けることです。そうすると、その人の霊の中に、聖霊が降って来られます。

「この約束は、私たちの神である主が召される人なら誰にでも、与えられています。」この言葉の中には、重要な真実が隠されています。それは、「主が召される人」であるということです。神様のご計画の中に、偶然は何一つありません。すべてが必然であって、通らなければならない道程、あるいは過程なのです。この日加えられた三千人は、前もって、主に選ばれていたのです。そして私たちも、選ばれた一人一人であるのです。》

◎お知らせ

※次回「第二主日礼拝」は、7月12日(日)教会にて行ないます。しばらくの間、夜の第二礼拝はお休みします。また「聖書の学びと祈り会」も、しばらくの間、各家庭にて分かれて、行なうことに変更となっています。